

「強度変調放射線治療における正常臓器線量の事前予想」への
ご協力をお願い

強度変調放射線治療は近年開発され、周囲の正常臓器の放射線量を下げることができる優れた放射線治療の方法です。ただ、患者さん毎に最適な照射法を繰り返し計算する必要があるために、通常の治療法より準備に時間がかかりますし、どこまで正常臓器の放射線量を低くできるかは、事前予測が困難であるという問題がありました。

近年、機械学習や深層学習といった高度な情報処理が可能になってきたこともあり、放射線治療計画前に、正常臓器の放射線治療を事前予測する試みが広がりつつあります。

この度、当院でも患者さんの照射方法やターゲット/正常臓器の形状から正常臓器の線量を予測する研究を行う予定です。この研究により、より早く正確に的確な強度変調放射線治療を提供することを目指しております。

もし本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。自分が本研究に該当するか不明な場合もお問い合わせいただければ、回答させていただきます。

研究の方法

当院放射線治療科で2014年1月1日から2026年3月31日までに当院で強度変調放射線治療を受けられた方を対象とします。

ターゲットとその周囲の正常臓器の大きさや形状、放射線治療の方法や線量分布を解析します。

研究期間

2026年5月20日～2027年12月31日

個人情報の取り扱い

本研究のデータは、インターネット接続のない、入室の管理されている院内のパソコン上でエクセルファイルとして管理します。発表の際は氏名など個人を特定できる個人情報を削除した状態で利用します。

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

実施施設及び研究者

京都第一赤十字病院 放射線治療科 小谷直広

京都第一赤十字病院 放射線治療科 西村岳

問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町 15 丁目 749 番地

京都第一赤十字病院 放射線治療科

電話：075-561-1121(代表)

責任研究者 小谷直広